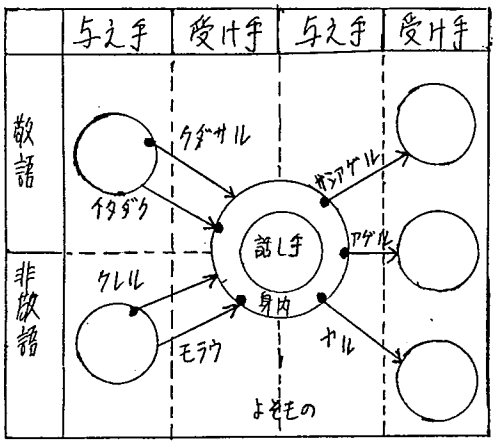
広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語授受表現の補助動詞 ： 中国語の授受表現との対照
Author(s)	王, 文賢
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 , 1990 : 31 - 36
Issue Date	1991-03-01
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039281
Right	
Relation	

日本語授受表現の補助動詞
―中国語の授受表現との対照―

王文賢

かがこしる識手う話す意しい、りの話とくたとはのなって、断もはまて判そで狭けのよ的、設」は対りを「外」者絶た枠「外」いはっうとな枠がと「内」でのたう「外」そにもるで、「外」とようとあ内」のど「内」で身内」は「、る、外」よ者りてあ「を語とるを語際、いじまっでと受主かれのがと。によ内」授がへくる。話ている属の「為もモとてっな発ニ近い所のな行そそ」れよにはるりてのもう。よよる」らたようめ人すよっ手なよる、、げけかよじ本言にな相的のくかかあ分否のは日発分にと対ニて語へしにか次ら自と手相れ主内さ類上ば表が身・種目れに内がる三りす的身益げのよ示型、利あ・手図典にる・くけを に仙ずるだ受れ現中生やたがニ表を て「い手受手っ、、える。授しよてう与あ の話にっらはが語は果よもにけ本詞結に「類分日動の準と種いは助為基」三使識補行のるの竟るたつさニ語のすまニだ、敬うくて非 敬注



•は主語（例えばクダサルなら目上の与え手が主語）

注、『岩波講座日本語Ⅰ日本語と国語学』1976、柴田武ら「世界の中の日本語」引用者注。

中国語の授受表現は、補助動詞の使い方が比較的簡単で、下に示すように、授受関係を表わす動詞の用法は、日本語とほぼ同じである。

ゆえに、授受関係を表わす動詞の使い方は、日本語と中国語とを比べてみると、次のような特徴がある。

1. 授受関係を表わす動詞の使い方は、日本語と中国語とを比べてみると、次のような特徴がある。

2. 授受関係を表わす動詞の使い方は、日本語と中国語とを比べてみると、次のような特徴がある。

する。例文の中国語の訳文はその日本語文の番号に'を付して用いることにする。

1、身内が主語で、利益がよそものへの場合―やる・あげる・さしあげる

これら補助動詞は恩恵を受ける人が主語で、利益を与える人はよそもの。作用が他の人のために行なわれる時に使われる。作用の実現によって、動作・作用の結果が主語に、次のように使われる。

①「我想和她一块生活。」

①'「我跟你一起过日子。」

②「我给你洗衣服。」

②'「我给你洗衣服，尽管去吧。」

③「我给你做饭。」

③'「我给你做饭吧。」

なお、「あげる」はよく使われる。

④「我给主人了个礼。」

④'「我给主人了个礼。」

⑤「我给师傅送来了。」

⑤'「我给师傅送来了。」

⑥「我给先生送去了。」

⑥'「我给先生送去了。」

⑦「我给他写了信。」

⑦'「我给他写了信。」

⑧「我给他开了门。」

⑧'「我给他开了门。」

⑨「我给他拿来了书。」

⑨'「我给他拿来了书。」

⑩「我给他拿来了书。」

⑩'「我给他拿来了书。」

⑪「我给他拿来了书。」

⑪'「我给他拿来了书。」

⑫「我给他拿来了书。」

⑫'「我给他拿来了书。」

⑬「我给他拿来了书。」

⑬'「我给他拿来了书。」

⑭「我给他拿来了书。」

⑭'「我给他拿来了书。」

⑮「我给他拿来了书。」

⑮'「我给他拿来了书。」

⑯「我给他拿来了书。」

⑯'「我给他拿来了书。」

象れ省略をに、「くれる」「くださる」の用法を見てみよう。

2、「くれる・くださる」

「くれる・くださる」は行為の主体が人間の場合とそうでない場合がある。以下行為の結果を不利益として受け取ることもある。

2－1「くれる」は行為の結果について考察してみる。

表の「くれる」は行為の場合動作を身内のために行なったりすることを表わす例文がよくみられる。

⑦ 私は身内の手は よそもので、主語である。「くださる」は
⑦' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑧ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑧' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑨ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑨' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑩ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑩' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑪ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑪' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑫ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑫' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑬ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑬' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑭ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑭' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑮ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑮' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑯ 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、
⑯' 我先生は身内が敬い遠ざける時に使われる。例えば、

2－2「くれる」は動作を身内のために行なったりすることを表わす例文がよくみられる。話し手は自分の身内が相手から利益・恩恵を受けることを表わす。相手が話し手に利益・恩恵を受け手が話し手に利益・恩恵を受け手が話し手に利益・恩恵を受け

(4)

しては現ずに表れ方で的文の比をめたこなるうせばるけすりけたはけを受益の利の、そ間人ってよ

を現た表れ慣にわ的うの喩に、たい取ったけ受係物益授お人ま

て、表れでしし的に想訳と発て、こ場う日こ受はい習者ょ学親

お現れと慣とにわ中いい、の本ろ合こ本い係し使ら親ま

ま表れ慣とにわ的に想中発切る人人と日こ係ま使ー

た表れ慣とにわ的に想中発切る人人と日こ係ま使ー

て、

㉑親に頭金を出してもらって、家を建てた。
㉑'父母替我出了拆押金，我盖了房子。
㉒親に頭金を出させて，家を建てた。
㉒'我让父母给我出了拆押金，盖了房子。
㉒のほうは親に甘えて，依頼した結果、親が頭金を出したというあり
がたい感じが強いのに対して，㉓のほうは依頼というより親に強制的
に要求したという意味が強くなってくる。
このように「せる・させる」は強制的な意味あいが強いので、よそ
ものが主語の場合、よく使われる。例えば、
㉔たばこぐらいは吸わせてよ。
㉔'烟卷，还是让我抽点吧。
㉕びっくりさせないでください。
㉕'情不要吓唬人。
のように用いられる。
だが、中国語の"要""请""让"などの使役動詞は、それのとる
主語に制約はない。主語は身内でもよそものでもかまわない。このよ
うな理由で中国語と日本語の使役の意味のちがいがあるので、「もらう・い
ただく」と「せる・させる」とを混用しないようによく両者の機能を
解しなければならない。
次に「もらう・いただく」のもう一つの受益的用法を見てみよう。
3 一2 受益的用法
㉖こうやって、みなさんに退院のお祝いをしてもらって、ほんとうに
嬉しい。
㉖'这样为我祝贺出院，我真高兴。
㉗日本に来た間、日本の先生からいろいろ教えていただいた。
㉗'在日本期间，我跟日本老师学到不少东西。
のように用いられる。この場合の「もらう・いただく」は単に相手の利益的行為の取得を表わ
す「くれる・くださる」と同じように利益の与え手が主語になることが
多い。
従来の日本語文法では、「くれる・くださる」と「もらう・いただ
く」は同じ事柄を伝える表現形式として捉えられていた。例えば次の
ような例文をあげて、学習者に主語や助詞のちがいに注意を向けさせ
ていた。
㉘会社が用意してくれたホテルに泊まった。
㉘'我会社在公司的旅馆里。
㉙会社に用意してもらったホテルに泊まった。
㉙'我会社在我们公司的旅馆里。
このような例文から、学習者に主語をかえれば、「もらう・いただく」
は「くれる・くださる」に置換できるという印象を与えてしまってい
た。しかし、「もらう・いただく」は「くれる・くださる」にかえて
も意味が変わらないのは「もらう・いただく」の受益的用法の場合に
限られている。そして、「もらう・いただく」は話し手が自分の側に
立って、相手の恩恵を受け取る恩じが強いのに対して、「くれる・く
ださる」は相手側に重点がある表現である。したがって、㉙と㉙'は一
見同じ事柄を言っているようだが、二つの文のニュアンスはちがう。

といだん
した頼
意を表さ
用こが
ルする意味
テ意う
木用い
にをと
員ルた
社テし
て、木意
を持っ員を用
意は、社ルテ
対で、木テ
に㉙て、
的じて
発が、
自るに
方あれて、
社でそ判判本
会いがかっ裁院
、お社たと由場で
は味会しうまのけこわ上
で意、
うらる。

㉛㉚のな をお

見客この分い、利にたパ語
てをる益いおくを的しの本
し事す利使にな為立解達日
照物明、な現か行中理伝な
対、表てう表しのにを見確
と会をっよ受立人的い意的
現場り持の接対、観がびり
表すとをこのに客ち及よ
受わり識。為ってのが、
接表や意る行ニよし想えて
のものいのうのと発考っ
語為患て語い人実のよ
国行罠外」け国と本事者のに
中たて「分中か日をニもと。
をしっとい。語、実なやこう
法に使る主て事う方るる
用提を内」使る主て事う方るる
の前詞「詞で手そくのら入に
詞を動、動ろけ。なことに能
動係助て助よ受るは・の備可
助関補し補い、なでる係考が
補人受そ受なかでのお関をと
受対授。授ら語のるで間れこ
授は、る、当主もべ通人そう
の人りなて見かな述著の、使
語本よでっに手単てが人りを
本日るのよ語文簡しの本知現献。
といに国与てなる日を表文も
に多大中、めみす、こい考て
観とゆけて主箇表上タら

⑪ 「それに対応する中国語表現 ―『請』を中心に」 奥津敬一郎・徐昌華 『日本語教育』46号

⑫ 授受表現の対照研究 ―日・朝・中・英の比較 奥津敬一郎『日本語学』1983 Vol.3

⑬ 「テクレル」「テモラウ」の互換性とムード的意味 ・堀口純子『日本語学』1987 Vol.6

⑭ 授受表現にかかわる誤りの分析 堀口純『日本語教育』52号

⑮『ケーススタディ 日本文法』 桜楓社

⑯『現代日本語の表現と語法』 佐久間鼎 厚生閣出版

⑰『日本のことばと心』 山下秀雄 講談社

⑱ 柴田武「世界の中の日本語」『岩波講座日本語1 日本語と国語学』1976 岩波書店